

# 『実録！犯人の声 二セ電話詐欺』



二次元コードを読み込むか、「実録 犯人の声」で検索！

★「オレオレ」急増  
県下で二セ電話詐欺等の被害が激増しています！  
中でも二セ電話詐欺の被害のうち、警察官や息子等を騙った「オレオレ詐欺」の手口が最も多くなっています。  
今回は、警察官を騙ったオレオレ詐欺を紹介します。  
まず、犯人の多くが、「国際電話番号」を使用して電話をかけてきます。  
電話に出ると、警察官を名乗る犯人

が「あなたは犯罪に関与している」等と不安にさせる言葉を言い、その後の連絡方法として、LINE等のSNSに誘導されます。  
SNS上で、犯人は偽物の警察手帳や逮捕状を見せて不安にさせ「あなたの無罪を証明するために」だとか「逮捕を免れたいのであれば」等と様々な理由をつけて、お金を要求してくるのです。  
警察官は、SNSで逮捕状を見せたり、お金を要求したりすることはありません。

警察官がSNSで連絡してきたら、まずは詐欺を疑ってください。

## ◆詐欺防止対策

二セ電話詐欺の対策として、「国際電話停止サービス」と「LINEの勧誘遮断措置」があります。

「国際電話停止サービス」は、固定電話に限り、無料で国際電話の発着信を停止できるものです。

ご希望の方は、当署生活安全課までご連絡下さい。

また、「LINEの勧誘遮断措置」の方法は以下のとおりです。

## 【電話番号の検索阻止】

設定↓一般↓友だち↓

「友だちへの追加を許可」をOFF

## 【IDの検索阻止】

設定↓個人情報↓プライバシー管理↓IDによる友だち追加を許可」をOFF

## ◆実録動画公開中！

オレオレ詐欺の犯人との実際のやりとりを、「YouTube」で公開中です。

息子を騙る犯人がどのようにに騙してくるのか、是非視聴して、今後の対策に役立てましょう！

# 全 力 小 南 新 聞



## 生命（いのち）のメッセージ展開催

★8月25日から31日まで実施される飲酒運転撲滅週間を前に、飲酒運転事故によって尊い命を失われた方3名の等身大パネルとそのご家族からのメッセージ、お亡くなりになられた方が生前履かれていた『生きた証の靴』の展示を行いました。

この展示は、加害者も被害者も生まない命が守られる社会の実現と飲酒運転を許さない社会環境づくりの更なる推進を図ることを目的として、北九州地区の警察署でリレー



形式で行われました。  
展示中は、警察職員も来訪者も立ち止まって家族からのメッセージに目を向けて生きた証を感じ取り、飲酒運転によって未来ある若者の命が奪われた事実を受け止め、二度と飲酒運転によって尊い命が奪われないことを願いました。

飲酒運転をする加害者も、飲酒事故による被害者も生まないために、飲酒運転ゼロを目指し、今後も飲酒運転取締りや啓発活動を全力で推進していきます。

## やってみよう、警察の仕事！！

★8月18日、警察官や警察行政職員の受験希望者等を対象に、体験型業務説明会を行いました。

説明会では、大学生ら合計32名の参加者を2回に分け、①警察業務や警察学校での訓練等の説明、②当署鑑識係の指導による鑑識業務体験③若手警察職員との座談会を行いました。

参加者の皆さんは、緊張の面持ちながら、熱心に業務説明を聴講したほか、見事に指紋を採取し



て歓声が上がったり、座談会では活発な質疑応答がなされるなど、有意義な説明会となりました。

## 乗り物盗発生状況（小倉南署管内） 令和7年7月末現在（昨年比）

| 自動車盗  | オートバイ盗 | 自転車盗     |
|-------|--------|----------|
| 1(±0) | 8(+5)  | 208(-58) |

★ツーロックしましょう！  
自転車盗は減少傾向にありますが油断は禁物です。被害に遭う自転車の多くは無施錠ですので、必ず鍵を掛けましょう！  
ワイヤー錠を活用し、ツーロックすれば安心です！

## 交通事故発生状況（小倉南署管内） 令和7年7月末現在（昨年比）

| 発生件数     | 死者数   | 傷者数      |
|----------|-------|----------|
| 382(-47) | 0(-1) | 486(-73) |

## ★交通事故の現状

発生件数は減少しており、高齢者関連・自転車関連の事故も減少傾向です。

これから年末にかけては毎年交通事故が増加傾向にありますので、車（自転車）も歩行者もみんなが交通规则を守って交通事故防止に努めましょう！

## 何よりも人命優先！

7月初旬、一人の女性が慌てた様子で北方交番に飛び込んできました。

同交番の勤務員が女性を落ち着かせて話を聞いたところ、家族の安否に関するもので、その内容に人命の危機を直感した勤務員等は、発生場所が小倉北警察署の管内でありましたが、何よりも人命が優先と判断し、直ちに現場に赴き室内を確認すると、手首から血を流し意識が混濁した男性を発見しました。

すると、同交番の警部補は身に付けていた救急法の知識をいかし、タオルやベルトを利用して直ちに止血を実施しました。

その後、警部補等は間もなく到着した救急隊に男性を引き継ぎ、大事に至らず事なきを得ました。

前号で紹介しましたとおり、小倉南警察署では、小倉北警察署と共同で警察署の組織理念と署員の行動指針のスローガンを掲げ、「小倉のまちはONE TEAM!!」という理念のもと、職務に取り組んでいます。

本事例は、同理念を署員が体現した事例のひとつです。

今後も警察署の垣根を超え、みなさまの安全・安心のため職務に取り組んでまいります。

